

突然やってくる 災害に備えましょう

昭和48年の根室半島沖地震や平成6年の北海道東方沖地震。根室市は、過去に地震による大きな被害を受けました。また、今年2月末に発生したチリ沖地震では、遠方で発生した地震にもかかわらず津波が押し寄せてきました。

地震や津波は、いつ、どのように襲ってくるかわかりません。災害時は、日ごろからの備えを万全にしておく、と慌てずに行動できるようにします。家庭などで防災対策について話し合い、災害への意識を高めましょう。

3つの災害対策 「自助・共助・公助」

災害が発生してから正常な状態に復興するまで重要な災害対策は、「自助・共助・公助」の3つに分けられます。このうち一つでも欠けてしまうと、万全な災害対策とはいえません。

大規模な災害が発生した場合、道路・水道・電気・電話

などの都市機能がまひし、消防などの防災機関の活動（公助）が困難となる場合があります。公助が機能するまでの間に重要となるのが、自助と共助です。

① 自助

自助とは、災害に備えて自らの安全のために備えることです。

- ① 震災の死亡原因で最も多いのは、住宅や家具類の倒壊による圧迫死です。次のことを確認・実施しましょう。
- ・ 出入口付近や寝具のそばに家具を置かない。
 - ・ 金具やつっぱり棒などを利用し、家具を固定する。

北海道東方沖地震の被害

防災対策や自主防災組織についてのお問い合わせは、市総務課・総務防災担当TEL(23)6111番内線2222まで。